

平成27年4月12日執行
川崎市議会議員選挙
午後8時まで投票できます

多摩区選挙区(定数9人)選挙公報

川崎市選挙管理委員会

PTA(OB)の教育改革! 元会社員の行財政改革!

国政無所属だからこそ出来る事、党派を超えて政策実現!
誰もが将来にわたって住みやすい「かわさき」を実現するために全力投球。PTA・自治会・消防団などの経験から市民目線の市政を是是非非で実行。

川崎の事は川崎で決める。

新しい川崎の会 Meeting of the new KAWASAKI
http://www.hideaki-ito11055.com

持続可能な安心のまち川崎に! 医療・介護制度の改革を!

- 1 小児医療の無料化拡大等、小児・救急医療の再生!
- 2 予防医療の推進による在宅介護負担軽減推進!

財政規模を適正に! 行政のスリム化を!

- 1 民間活力の活用、天下り廃止等による公営企業の経営効率化!
- 2 議員定数の適正化!

創造力豊かでやさしさあふれる人間づくりを!

- 1 習熟度別授業による学力アップと寺子屋教育によるふれあいを推進!
 - 2 待機児童ゼロ化推進!
- にぎわいと安全! ぐらしやすいまち川崎へ!
- 1 東京・横浜との連携による広域産業等、新しい産業発展を提案!
 - 2 多摩区を中心とした川崎市の観光推進等、地域経済発展をバックアップ!
 - 3 消防団の定員充足、救急救命法の普及、AED設置マップ作成等、災害に強いまちづくり!

—— いう秀章 プロフィール ——

昭和35年8月20日生まれ
麻布大学 獣医学部卒
農業会社の研究所(研究員)勤務後医療器械販売の営業を20年勤務
前神奈川県立菅高等学校 PTA会長(平成24年度)
現在 神奈川県立菅高校 PTA OB会(菅の根会)会長



いう秀章

ひであき

新しい川崎の会
公認

船の来ない港開発や
必要ない橋2本など
ムダづかい

1400億円やめ

東京では
あたりまえ
中学生まで
医療費無料化を

- 介護保険料ひき下げ
- 保育園・特養ホーム増設
- 住宅リフォーム助成創設

福祉型投資で
地域経済を
元気に

20年来の市民運動と力をあわせて
2017年実施(予定)へ準備がスタート
中学校給食が実現へ!

● 私立幼稚園の保育料補助増額(月1万円)入園料補助(10万円)● 小中学校の全学年で少人数学級● 介護援助手当(月1万円)復活● 高齢者医療費助成● 障がい者の低所得1・2の医療費無料化● 若者の正規雇用拡大へ求人開拓● ブラック企業対策と相談窓口設置● 生田浄水場を残し、市民の命の水を守る● 多摩丘陵の豊かな自然を守る

日本共産党を伸ばして 悪政ノー!

● 消費税10%への増税はキッパリ中止を● 原発ゼロへ再稼働反対● 集団的自衛権の行使容認撤回、戦争する国づくりストップ、憲法9条を守ろう

1人 80万円 市議の海外視察は中止に
—— 共産党は参加していません

長野県生まれ。党国會議員秘書などを経て、市議3期、環境委員会副委員長など歴任。「ぐらしの相談センターたま」所長。民生委員2期目、社会福祉法人なごみ福祉会評議員。家族は夫と1女、菅田堤在住。井口 まみ 検索



井口 まみ

いぐち真美

日本共産党

既得権益をノックアウト!

生きた政治を皆様に!
多摩区民約20万人全員との意見交換を目標に、市民の声を聞いて参りました。そんな私だからこそできる!! 市民の皆様に応える政治を実現いたします。

議員定数削減!

身を切る改革!

行政・財政・議会改革を行い、地域課題解決に必要な原資を生み出します。

● 公務員管理職の中途採用制度を導入して民間の知恵を活かす● 選択と集中による財政の健全化を行う

市役所から区役所へ!

地域主権型政治!

地方分権を推進、市業務改革を行うことで、区が独自で地域課題を解決出来る土台を作ります。

● 市内分権を推進、区役所へ権限を委譲 ● 区毎の常任委員会を設置、政治課題の解決をより身近に

こどもの遊び場確保!

安心安全の街づくり!

子育てに優しい環境作り、自然災害対策、街の高齢化などの課題に挑戦します。

● 産科・助産院を拡充、両親学級の土曜実施● インフラ強化、地域防災計画の見直し● コミュニティバス導入

観光資源を徹底活用!

川崎経済を活性化!

交流人口を増やし、川崎市の魅力を伝えることで定住化を促し、地域を活性化します。

● 民間企業に眠る知産活用を促し、経済を活性化 ● 登戸区画整理推進 ● 起業を支援し市内に人を呼び込む

プロフィール
1981年1月6日生 34歳 団地育ち 登戸在住
元衆議院議員 椎名つよし秘書(多摩区担当)
プロボクサー(川崎新田ボクシングジム所属)
明治大学法科大学院 修了 法務博士
明治大学法学部法律学科 卒(民法伊藤進ゼミ長)
自由の森学園中等部・高等部 卒(応援団長)

私達も応援しています。
維新の党 JAPAN INNOVATION PARTY
党代表 衆議院議員 江田憲司
党最高顧問 大阪市長 橋下徹
維新の党 前衆議院議員 椎名つよし



たぐらら 俊輔

しゅんすけ
34歳

維新の党公認 新人

女子力、集結! 輝く未来を、子どもたちに

全ての女性が輝く社会は老若男女全ての人が幸せな世界です。既成概念に捉われず一級建築士・二児の母・介護体験者の視点を持つチェンジメーカーとして、現場の声を政策で実現します。自民党唯一の女性市議・吉沢章子におまかせ下さい!

吉沢章子5つの政策公約 eco+ako

女子力全開。
職場で・家庭で・地域で、すべての女性が輝く社会を

● 女性が輝く社会は老若男女が輝く世界。ワークライフバランスの向上、子育て、介護などを全力支援。自民党候補者19人中唯一の女性として、女性の声を政策へ。

高校生×川崎市
今こそ子どもの声を政治へ、行政へ

● 平成26年12月議会にて現役高校生と共同で「高校生課」を提案! 検討委員会が立ち上がりました! 子どもたちが持つ次元の違う視点とスキルで行政課題を解決! 若者・子どもの声を政策へ。

多摩区強靱化計画
国土強靱化 → 川崎強靱化 → 多摩区強靱化

● 複合型災害(首都直下型地震・集中豪雨・台風等)への早期対策とエネルギー政策として「環境共生都市」を一級建築士の視点で提案中! 災害対策は章子にお任せ!

チームDE医療 チームDE介護
住み慣れた多摩区で。在宅高齢者支援

● 多職種連携による質の高い在宅医療・介護サービスの実現を目指す「チーム・たま」を全力応援! 在宅介護経験者としての視点で地域包括ケアシステムを確立! 現場の声を政策へ。

生田緑地で多摩区をネットワーク!
生田緑地で地域経済活性化・ステージ2

● 「環境と観光の多摩区」を提言して12年。民間によるパークマネジメントを実現! 指定管理者・区役所・大学・地元商店街等がチームとなる経済活性化策をさらに提案! 地域の声を政策へ。

前回公約達成率91% 政策提案実現率97%
詳しくはWEBへ! 吉沢章子 検索

プロフィール
昭和39年3月14日登戸生まれ生田在住 ■ 東生田小・生田中・百合丘高・東京YMCAデザイン研究所建築科 ■ 職歴: 菊竹清訓建築設計事務所・吉沢章子建築設計事務所 ■ 平成15年川崎自民党初の女性市議として当選現在3期目 ■ 自民党・政令市女性議員なでしこの会長・川崎市連政務調査会副会長 ■ 資格: 一級建築士・宅地建物取引主任者 ■ 趣味: サッカー(桐形FWSCダイナマイトママ所属) 絵を画く 詩を描く 歌を詠む



自由民主党公認

吉沢 章子

よしざわ あきこ

平成27年4月12日執行
川崎市議会議員選挙
午後8時まで投票できます

多摩区選挙区(定数9人)選挙公報

川崎市選挙管理委員会

夢がススム!

ずっと住み続けたい「多摩区」を創りたい! —それが「すがわら進」の夢です。



世界から人々が集まる「観光拠点」を
生田緑地・向ヶ丘遊園跡地に!

- 登戸駅や向ヶ丘遊園駅を核とした魅力あるまちづくり
- 南武線を羽田空港に延伸! 多摩区の国際化を加速
- 小田急線の連続立体交差化で「開かずの踏切」解消を

福祉がススム!

日本初の認知症専門病院「かわさき記念病院」、
新百合ヶ丘総合病院の開設

- 人間の意志に従う世界初の医療・介護ロボットHALが
市内医療機関・福祉事務所で利用可能に
- 市バスに「ベビーカーマーク」導入
- 最先端のガン治療病院整備を推進します

教育がススム!

小学校での英語教育を全国に拡大!
中学校での完全給食が平成29年度から実施へ!

- 多摩区内3大学と連携し、充実した子ども教育環境を
- 保育園待機児童ゼロを目指します

経済がススム!

川崎でも2割増の「プレミアム商品券」が実現!
「川崎工場夜景ツアー」を発案し、観光を活性化!

- 最先端の科学技術が集う国際戦略拠点を拡充!
- 中小企業対策(融資制度、経営相談、情報発信)の充実
- 若者の就職支援制度の充実 ●「水素社会」の実現に率先

豊富な地域実績

- 宿河原駅、久地駅のバリアフリー化
- 多摩区初コミュニティバス実現
- その他多数

環境政策にも率先

- 100万本植樹運動の推進
- 多摩川の環境整備、
生物多様性の保全

昭和22年 秋田県生まれ ○海城学園中等部・高等部、中央大学法学部卒
○デンマークの船会社に18年間勤務 ○衆議院議員政策担当秘書を経て、
川崎市議会議員に4期連続当選 ○公明党本部中小企業活性化対策本部委員、
公明党神奈川県本部副代表、公明党川崎総支部連合会長・多摩第2支部長
○川崎市監査委員、川崎市まちづくり委員会委員 ○多摩区登録在住



すがわら進

すすむ

公明党公認

行き場のない患者をつくらない

「医療安全保障」の確立。多摩区では、年を追うごとに区民が地元の病院に入院するのが難しくなり、「行き場のない患者」が増えています。その解決策として、空き病床情報の活用による病床利用率の向上、時代が必要とする医療への転換等、時代に即した医療行政を提言します。また救急車の現場滞在時間をより短くして命を守ります。

生活保護制度の健全化を急げ

生活保護受給者の48%は15歳～64歳までの生産年齢人口が占めています。働けるのに働く機会を得られない人たち、特に勤労世代には保護から職業訓練、就労機会の提供へと、制度を見直します。

文部科学省も教育委員会も、 教育行政の敗北を認めよ

若年無業者、ひきこもり、若者の無気力や粗暴、不登校児童・生徒、社会性が乏しく職が安定しない若年勤労者、そして常軌を逸した少年犯罪。これらはすべて、間違った教育論に基づく教育行政の結果です。『子どもの権利条例』等、愚劣な教育を「除染」します。

強い経済なくして、 充実した福祉・医療はありえない

市内企業の海外展開の支援。従来のようなChina(シナ)やメコン流域にとらわれず、ムスリム市場(インド洋経済圏)等、新たな巨大市場への果敢な挑戦。他都市を圧倒する研究開発機関の集積力を活かし、付加価値の高い知的財産を基軸にした「知財立市」を構築。安定的な税収増で、福祉と医療の充実した川崎を実現します。

プロフィール

昭和46年3月23日生まれ。推薦人 衆議院議員 笠ひろふみ
大東文化大学 文学部 卒業。ユアサ商事株式会社を経て、
松沢成文(当時・衆議院議員) 秘書。川崎市議会議員 3期。

<http://ryusuke.weblogs.jp> 三宅隆介 検索



三宅隆介

みやけ りゅうすけ
民主党 公認



元東京都公立中学校の教諭

〈マニフェスト〉多摩区のJR南武線の片側改札口を両側改札口にします。

(1) 久地駅南側の改札口を造るよう努力します。

(2) 宿河原駅南側の改札口を造るよう努力します。

(3) 中野島駅北側の改札口を造るよう努力します。

(4) 多摩区全体の発展のために、JR稲田堤駅と京

王線稲田堤駅の合体駅を造るよう努力します。

公立学校の『知識教育・道徳教育・体育教育』の調和的教育を主張します。

多摩区駅前道路の整備と駅前にマイクロバス停留所の設置を働きかけます。



星野の隆彦

船の来ない港開港や 必要ない橋2本など 1400億円やめ

自民・公明・民主
維新(元みんな)の
議員が推進

東京では
あたりまえ

中学生まで 医療費無料化を

所得制限の撤廃

ひき下げ

介護保険料

福祉型投資で
地域経済を
元気に

保育園・特養ホーム増設
住宅リフォーム助成創設

私立幼稚園の保育料補助増額(月1万円) 入園料補助(10万円) 小中学校の全学年で少人数学級 介護援助手当(月1万円) 復活 高齢者医療費助成 障がい者の低所得1・2の医療費無料化 若者の正規雇用拡大へ求人開拓 交通不便地域へのコミュニティ交通支援 災害時に活用できる生田浄水場の自己水源を守る 区内の戦争遺跡を平和教育に

日本共産党を 伸ばして悪政を

- 消費税10%への増税はキッパリ中止を
- 原発ゼロへ再稼働反対
- 集団的自衛権の行使容認撤回、戦争する国づくりストップ、憲法9条を守ろう

1人80万円 市議の
海外視察は中止に
—共産党は参加していません—

多摩区登録生まれ、登戸小学校、稲田中学校、
東京工業高校卒業、森田三之丞県議秘書など
を経て市議4期、健康福祉委員など歴任、民生
委員5期。商店街・農業支援、登戸土地区画整理
事業の推進などに尽力。 斉藤隆司 検索

20年来の市民運動と力をあわせて
中学校給食が実現へ!
2017年実施(予定)へ準備がスタート



斉藤隆司

さいとう 隆司
日本共産党

平成27年4月12日執行
川崎市議会議員選挙
午後8時まで投票できます

多摩区選挙区(定数9人)選挙公報

川崎市選挙管理委員会

見る。聴く。動く。 行動と経験の40才

夢や理想を語ることは大事かもしれませんが、それは空想であったり、単に耳ざわりの良い場当たりのことを言っているに過ぎないこともあります。現実から逃避しては何も前に進めることは出来ません。限りある財源…。現実を直視し、市民皆様の生活に係る諸課題に情熱をもって全力で挑戦します。

□行財政改革を更に推進

川崎市の人口千人当たりの職員数は7.02人(政令市平均6.62人)市民一人当たりの人件費負担は約6万5千円(横浜市は約5万3千円)。比較すると更なる効率化が必要。また、人材育成による効率的、効果的な行政体制の構築。

□児童生徒の生命を守る

川崎市と警察による学校警察連携に係る協定の締結の実現。
市内小・中学校と各警察署との連携を強化。
痛ましい事件を再び起こさぬよう再発防止の取り組みの強化。

□超高齢社会への対応と子育て支援の充実

医療、介護、介護予防、住居、日常生活支援が包括的に確保される、地域包括ケアシステムの構築。小児医療費助成制度の対象年齢を段階的に拡充。病児保育の拡充。

□災害対策の強化

学校施設へのLPガス設備の常設や防災備蓄倉庫の設置で、避難所機能の強化。マンホールトイレの整備を推進。
町内会・自治会会館の新築、改築、耐震補強の費用を補助。

□救急車の利用を適正に

川崎市の平成26年の救急車出動件数は約6万5千件。(約8分で1回出動)その内、入院を要しない場合が約56%。更に数十回にわたる頻回利用者もおり適正利用の強化。

□北部地域の交通基盤整備の促進

JR南武線、久地、宿河原、中野島、稲田堤駅の橋上駅舎化や両側改札口の設置。道路渋滞の緩和。自転車レーンの設置で安全で快適な道路整備。

推薦人

自由民主党組織運動本部長 衆議院議員 **田中 和徳**
元川崎市議会議員 **伊藤 ひろし**

プロフィール

昭和49年 川崎生まれ 県立新城高等学校・中央大学卒
衆議院議員秘書 川崎市議会議員2期



自由民主党

はしもと
橋本まさる
40才

ずっと住みたい多摩区へ 市民が主役!のまちづくり

政治の仕事は、
市民の生活が幸せになる仕組みをすることです。

そのために、
多摩区民の皆様との触れ合いを大切にし、問題点を明確にします。
問題に見合った税金を配分し、皆様が納得できる財政運営を主張します。
まず最初に議員自身が身を切ることを訴えます。

政務活動費年間540万円の廃止。 議員報酬の30%削減。見える、 開かれた、分かりやすい市政に

- 防災・防犯に強い安心・安全なまちづくり
(地域の公共施設の有効活用と防犯カメラの充実)
- 南武線の整備(ホームドアの設置)
- 中小企業・商店街の活性化
- 介護・福祉、医療サービスの充実
- 子育て支援の強化、待機児童を解消
- 予防医療の充実、市民の健康を促進
- 世代を超えて支え合う川崎市づくり
.....

未来の地域力の礎として、こどもから高齢者まで参加のできる市民参加型
「日本一の市民祭り」を提案・推進します。

井野大輔 プロフィール

昭和46年6月27日 川崎市多摩区生まれ多摩区育ち
昭和56年 川崎市立下布田小学校卒
昭和62年 川崎市立中野島中学校卒
平成2年 神奈川県立百合丘高等学校卒
現在は、17年前に飲食店を独立開業し3店舗経営中。
家族 妻、二歳の息子 中野島在住
URL <http://ino-daisuke.info>



無所属

いのだ
大輔
すけ

安心安全のまちづくり

地域の声、
身近な問題を市政へ
それが私の使命です

「いま、これらの問題と取り組んでいます」

待機児童解消へ施設を充実

幼稚園児への就学補助増額

高齢者見守り事業の推進強化

特養施設の充実

道路の整備とバリアフリー化

都市計画道路の早期整備

稲田堤駅の橋上駅舎早期実現

防災備蓄倉庫を各学校に

●ひろた健一 プロフィール●

昭和24年生まれ、東京商業高校卒業
家業の豆腐製造販売業に従事
元川崎市PTA連絡協議会会長

平成15年4月 川崎市議会議員初当選
平成19年4月 2期当選
平成23年4月 3期当選

議会運営委員長、総務委員会副委員長、
まちづくり・健康福祉・環境等各委員を歴任。

現在：市民委員会委員
自民党多摩区連合支部幹事長

ひろた健一さんの政策を支持致します。

衆議院議員 中山のりひろ 中野島幼稚園園長 浅谷光子
参議院議員 小泉あきお 厚生館愛児園園長 近藤芳晴
参議院議員 島村 大 東菅幼稚園園長 佐保田ともこ
参議院議員 三原じゅん子 菅幼稚園園長 平山方夫



ひろた
健一
けんいち
自民党

「住んでよかったと思える安心・ 安全・うるおいのあるまち "川崎"であってほしい。」

そんな思いを実現するため、
めざした初心を忘れず。

- こつこつ働いて、くらしている市民と共に
- 常に社会的に弱い立場の側に立ち
- 川崎で育ち、くらす誇りをもち

全力でとりくみます!

つゆき明美の基本政策

- ★災害など、いざという時に
万全に対応できる救急・救助体制をつくる
- ★歳を重ねても安心して
ずっと住み続けられるまちをつくる
- ★心身共に健康で豊かな子どもの
育ち・教育を支援する
- ★「脱原発社会」を展望し、自然エネルギー政策、
環境配慮型の政策を推進する

つゆき明美 プロフィール

☆1954年生まれ(60歳)生田高校、玉川大学卒業
☆川崎市立小学校教諭(29年間)
☆川崎市北部で福祉ボランティア
(NPOたまふくし協力会監事)～現在
☆児童の健全育成ボランティア
(NPOココロ理事)3年間
☆2011年4月～ 川崎市議会議員(現在1期)
☆生田在住 家族(夫・犬2匹)
詳しくはホームページで <http://tsuyuki-a.com>



つゆき
明美
あけみ
民主党公認
神奈川ネットワーク推薦
社民党推薦

平成27年4月12日執行
川崎市議会議員選挙
午後8時まで投票できます

多摩区選挙区(定数9人)選挙公報

川崎市選挙管理委員会



安心・安全ナンバーワンのために!

私の原点は、阪神淡路大震災のボランティア活動です。その経験から、自助・共助の力を最大限に発揮できるよう、政治が行うべき公助について提案。避難所になる学校へのWifi 導入や水道管耐震化、独立型防災倉庫の設置などを実現してまいりました。安心・安全ナンバーワンのまちづくりへ、さらに全力で取り組んでまいります。



心に寄り添うサポートの実現を!

一人親家族、教育資金、介護や医療費の問題…今、家庭の周りには問題が山積しています。待機児童がゼロになっても、費用補助がないと生活できない方もいます。認知症には家族へのサポートが必要で。私は、どの年代の方も将来にわたって不安なく暮らせるよう、心に寄り添う切れ目のないサポート体制の実現を目指します。



あなたの声を届けるために!

政治は、困っている人にこそ必要であるとの思いで、私は地域の方々と触れ合い、皆様の要望に耳を傾けてまいりました。この4年間、2300 件を超える市民相談を受け、通学路の安全対策から南武線の橋上駅舎化等の推進まで、いくつもの提案を議会で行いました。あなたの声を届けるために、これからも常に心を尽くしてまいります。

プロフィール

1967年、兵庫県生まれ。父親の会社が倒産し経済苦の中、高校卒業後は働きながら准看護師資格を取得(福知山医師会看護高等専修学校卒)。95年の阪神淡路大震災では被害の激しかった神戸市長田区で被災地ボランティア活動を経験。結婚後、川崎市多摩区に転入、家族は夫と3女。2011年、市議会議員初当選。まちづくり委員会副委員長、健康福祉委員会委員長を歴任。公明党3・11を忘れない防災・減災PJメンバー、イヌネコ殺処分ゼロを目指すPJメンバー。

これまでの実績は
ホームページをご覧ください <http://kouno-yukari.jp>



公明党公認

河野 ゆかり

47歳

川崎市議会議員選挙

投票日 4月12日(日)

投票時間 午前7時から午後8時まで

投票日に、仕事や用事で投票所に行けないと見込まれる方は、期日前投票又は不在者投票をご利用ください。

期日前投票

期間 4月11日(土)まで

時間 午前8時30分から午後8時まで

場所 お住まいの(選挙人名簿に登録されている)区の区役所、支所、出張所など

川崎市選挙管理委員会
統一地方選挙のホームページ
<http://touitukawasaki.jp>

